

## さあ！新年度のスタートです！

新2年生のみなさん、春休みをどのように過ごしましたか？計画をきちんと立て、しっかり勉強できていた人が多いと思いますが、生活リズムが崩れ、思うように勉強ができなかった人はいませんか？学年集会や為せ成るセミナーでの話を思い返して、新学年のスタートダッシュにつなげましょう。

4月9日（火）－10日（水）に今年度最初の一斉テストがあります。一斉テストは定期考査よりも範囲が広いですが、範囲は設定されています。つまり、それだけ勉強がしやすいということでもあります。定期考査や一斉テストなどの範囲のあるテストにきちんと対応していくことが模試や入試の結果にもつながります。一斉テストには模試の類題も出題されますので、3学期に行われた模試の復習も忘れずに！

### 1 模擬試験の重要性

模擬試験(模試)は全国的に見て自分がどれぐらいのレベルにいるかを知り、目標とする進路先を絞り込む、そして目標までの学力差を測り具体的に学習に向かうためのツールです。城北高校の生徒のほとんどが進学を希望していますが、大学入試には全国各地から受験生が集まってきます。つまり、校内の順位だけでは自分がどんな大学に進学できるのかをデータとして知ることができないのです。全国レベルでの自分の学力を知り、試験後に模試を復習することで目標の大学に近づく学力を身に付ける、これが何より大事になってきます。ただ得点のみを見て一喜一憂するのでは意味がありません。模試を有効に活用できるか否かで、学習の成果は大きく変わってきます。今回は模擬試験ではありませんが、昨年度の3月に実施されたスタディーサポートの活用法について説明します。

## 2 スタディーサポートの意味は？

「スタディーサポート」の受験によって全国的な視点における現在の学力や各教科における細かい弱点分析などが分かります。また、リサーチ結果から見た生活面での自分の傾向や今後見直すべきポイントなども知ることができます。まずは得点率の低い分野について確認しましょう。弱点克服こそが、最も簡単な成績UPのポイントです。自分の「苦手」を今のうちに克服することで、進路選択の幅は大きく広がります。苦手を知ったら、今、手元にある1年の時の問題集や参考書でその苦手分野を繰り返し復習しましょう！また、生活面でも改善が必要な部分は新学期がスタートした今、変えていきましょう！

### ～～～個人診断レポート返却後の流れ～～～

「個人診断レポート」返却

後日、学力・学習習慣の診断結果と、弱点補強のためのワークとドリルが1冊になって返ってきます。学力の分析結果とアドバイスを読んで、今後どうすればよいかを考えましょう。

< 振り返りのステップ >

1. 個人診断レポートの診断結果を読み、学力のバランス・弱点分野・改善すべき学習習慣を確認する。
2. 個人診断レポートのワークとドリルに取り組み、弱点分野を復習する。
3. 個人診断レポートのアドバイス、「スタディーサポート活用 Book」・「スタディーサポート Planning Book」をもとに、今後の学習の目標を考える。